

2018年4月号  
**Vol. 33**

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ  
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号  
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438  
E-Mail [kikaku@cbs.or.jp](mailto:kikaku@cbs.or.jp)

HPからも  
アクセス  
できます!!  
Facebook  
(公財)千葉県文化振興財団 公式ページ  
<http://www.cbs.or.jp/>

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム

日本には古典芸能から漫画・アニメ、さらには地域に根ざした民族芸能まで様々な文化があります。こうした文化をオリンピックの開催にあわせて国内外に発信することで自分たちもオリンピックの気運を盛り上げ、参加していこうというのが、「文化プログラム」と呼ばれるものです。実は、「オリンピック憲章」の中で、スポーツとともに開催が義務付けられていて、もともとオリンピックには文学や音楽などを採点して順位を競っていた時代もありました。

千葉県文化振興財団でも、舞台の鑑賞公演や県民が参加する取組みなどを「文化プログラム」として開催しています。

今回紹介するのは、日本遺産の「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」になぞらえた「北総四都市文化紀行」です。江戸と様々な形で交流し発展した四都市の特色ある「文化プログラム」を、文化庁や千葉県、北総四都市江戸紀行活用協議会等の御協力をいただき、佐倉市・成田市・香取市・銚子市と千葉県東総文化会館を会場に、今年度から三ヶ年かけて開催していきます。

### 北総四都市江戸紀行とは？

千葉県は平成28年に、佐倉市・成田市・香取市・銚子市からなる「北総四都市」について、四都市を舞台としたストーリー「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」を文化庁が認定する「日本遺産」に申請し、認定されました。



武家屋敷旧但馬家住宅

### 佐倉市

十一万石の城下町



新勝寺の門前町

### 成田市

江戸時代に成田山への参拝ブーム



佐原の町並み

### 香取市

利根川で江戸と水運で物流



夕暮れの屏風ヶ浦

### 銚子市

江戸の食文化を支えた漁港町

## 平成30年度開催予定

### ①クラシックで書 in 成田

成田山書道美術館にて室内管弦楽の演奏会を実施します。視覚で愉しむ書と聴覚で愉しむ音楽の融合で新しい世界観を演出します。

### ②江戸芸能館 in 佐倉

佐倉市内の会場に江戸の小芝居小屋を再現し、江戸文化を題材とした落語や能、狂言、歌舞伎など伝統芸能の醍醐味を感じられる催し物を開催します。

### ③和妻 wazuma わづま in 成田

成田国際空港で、江戸時代から受け継がれている伝統芸手品の和妻を披露し、訪日された外国人や旅立つ方々の思い出に残るひとときを提供します。

## 「オリジナル木札」販売中！

千葉県文化会館

黒檀、本紫檀、鉄刀木（『タガヤサン』と読みます）、カシ etc・・・  
様々な原木から切り出し製材した板に“ト音記号”を切り抜いた「手づくり木札」を、千葉県文化会館のオリジナルグッズとして販売しています。

販売するにあたり、台紙のデザイン、パッケージングは会館の職員が行いました。会館名の焼き印こそありませんが、1つ1つ風合いも異なる、世界で1つの、まさしく手づくりの木札なのです。

普段は会館事務室で販売しています（税込480円）。

※演奏会の会場内でもブースをお借りして販売しています。



## ようこそ文化会館へ！ ～四季折々のおもてなし～

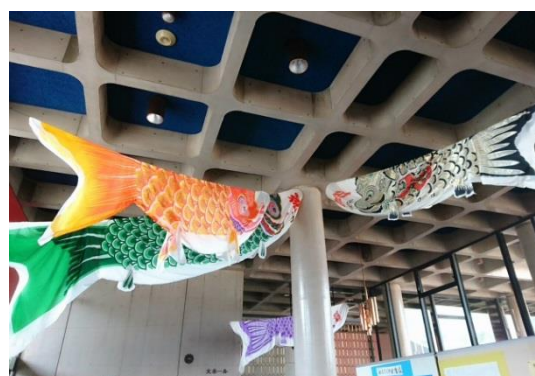
千葉県東総文化会館

ロビーをゆうゆうと泳ぐこいのぼりや、保育園の園児達が作った七夕飾り、クリスマスムードが漂うツリーとサンタクロース、桃の節句の七段飾りのお雛様。

千葉県東総文化会館では季節を感じる飾り付けでホールを彩り、居心地の良い空間と、安らぎと憩いの場を作って来場者の目を楽しませ、心を和ませています。

「ホールに行ってみたい！」と思わせるような、誰でも気軽に立ち寄り触れ合える、オープンで親しみやすい雰囲気を醸し出し、賑わいのあるホールとして、おもてなしの心と笑顔でお迎えします。

皆さんもぜひ足を運んで、四季折々の飾り付けを味わってみてください。



## 様々な分野で活躍する OB・OG

千葉県少年少女オーケストラ



左から、制作者の松尾拓弥さん・大垣友紀恵さんご夫妻、佐治薫子音楽監督

千葉県少年少女オーケストラの第1期生で、首席フルート奏者として活躍していた大垣友紀恵さんは、現在、アートディレクター&デザイナーとして、東京を中心に素晴らしい活動を続けています。当オーケストラのシンボルマークをはじめ、さまざまな作品を生み出していますが、今回は、今年の干支「戌」をモチーフとした、約300枚のさまざまな犬のパネルを、立体的に組み合わせさせて作ったアート作品を、1月2日から7日間、東京ミッドタウンに出展していました。高さ約2m、幅約

2.6mのアート作品は、その後1月14日から3月末まで、千葉県文化会館 大ホールのロビー右手側に展示され、多くの方に楽しんでいただきました。

大垣さんは団員達に、素晴らしいお話をしてくれましたので、ご紹介します。

ひとつひとつの音を丹念に緻密に磨きながら、壮大な音楽に創り上げていかれる佐治先生の姿勢に感銘を受け、制作にあたっては、いつもその姿勢を心においています。

オーケストラでの経験が、大人になった今でも、ほんとうに役に立っています。皆さんも、常に努力を惜しまず、頑張ってください。

## 編集後記

財団では現在「財団NEWS」を年3回発行しておりますが、現在「ホールの裏側について」という新しいフリーペーパーを作成中です。第1回は6月頃発行予定です。どうぞお楽しみに！